

安全データシート

ジプロピル - 4 - メチルチオフェニルリン酸

改訂日: 2024-01-29 版番号: 1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名 : ジプロピル - 4 - メチルチオフェニルリン酸
CB番号 : CB4117175
CAS : 7292-16-2
同義語 : ジプロピル - 4 - メチルチオフェニルリン酸

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : 有機リン系殺虫剤、農薬(殺虫剤)(失効農薬)
推奨されない用途 : なし

会社ID

会社名 : Chemicalbook
住所 : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話 : 400-158-6606

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日

2007/2/20 (環境に対する有害性についてはH18.3.31)、GHS分類マニュアル(H18.2.10 版)

物理化学的危険性

火薬類 分類対象外
可燃性・引火性ガス 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール 分類対象外
支燃性・酸化性ガス類 分類対象外
高圧ガス 分類対象外
引火性液体 区分4
可燃性固体 分類対象外
自己反応性化学品 分類できない
自然発火性液体 区分外
自然発火性固体 分類対象外
自己発熱性化学品 分類できない
水反応可燃性化学品 区分外
酸化性液体 分類できない

酸化性固体 分類対象外

有機過氧化物 分類対象外

金属腐食性物質 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分3

急性毒性(経皮) 区分2

急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

急性毒性(吸入:粉じん) 分類対象外

急性毒性(吸入:ミスト) 区分1

皮膚腐食性・刺激性 分類できない

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 分類できない

呼吸器感作性 分類できない

皮膚感作性 区分外

生殖細胞変異原性 分類できない

発がん性 区分外

生殖毒性 区分外

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 区分1(肺 神経系 肝臓 全身)

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 区分1(肝臓 神経系)

吸引性呼吸器有害性 分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 区分2

水生環境慢性有害性 区分2

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語

危険

危険有害性情報

可燃性液体

飲み込むと有毒

皮膚に接触すると生命に危険

吸入すると生命に危険

全身、肝臓、神経系、肺の障害

長期又は反復ばく露による肝臓、神経系の障害

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

眼、皮膚、又は衣類に付けないこと。

適切な保護手袋、保護衣を着用すること。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
適切な呼吸用保護具を着用すること。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、又は取り除くこと。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼でやさしく洗うこと。
皮膚に付着した場合、直ちに医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
吸入した場合、直ちに医師に連絡すること。
ばく露した場合、医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
漏出物は回収すること。
火災の場合には適切な消火方法をとること。

【保管】

換気の良い冷所で保管すること。
施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名	: ジプロピル - 4 - メチルチオフェニルリン酸
別名	: ジプロピル - 4 - メチルチオフェニルリン酸 (Phosphoric acid 4-(methylthio)phenyldipropyl ester)
分子式(分子量)	: C ₁₃ H ₂₁ O ₄ PS (304.341)
CAS番号:	: 7292-16-2
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	: 化審法- 安衛法-
分類に寄与する不純物及び安定化添加	: データなし
濃度又は濃度範囲	: 1

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。

多量の水と石鹸でやさしく洗うこと。

直ちに医師に連絡すること。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

予想される急性症状及び遅発性症状

データなし

最も重要な兆候及び症状

データなし

応急措置をする者の保護

データなし

医師に対する特別注意事項

データなし

5. 火災時の措置

消火剤

泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤

水噴霧、棒状放水

特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

極めて燃え易い:熱、火花、火災で容易に発火する。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

引火点が極めて低い:散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具(『8.ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

立ち入る前に、密閉された場所を換気する。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

回収・中和

物質を吸込み又は掃き取って廃棄用容器に入れること。

封じ込め及び浄化方法・機材

漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い更にプラスチックシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

裸火や高温のものから遠ざけること。 - 禁煙。

飲み込みを避けること。

眼、皮膚又は衣類に付けないこと。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

接触回避

データなし

保管

技術的対策

消防法の規定に従う。

混触危険物質

データなし

保管条件

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

冷所、換気の良い場所で保管すること。

酸化剤から離して保管する。

炎及び熱表面から離して保管すること。

施錠して保管すること。

容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会(2007年版)

未設定

ACGIH(2007年版)

未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

形状

液体

色 データなし

臭い データなし

pH データなし

< 25°C : PHYSPROP Database (Access on Sep. 2008)

175 - 177°C (0.85mmHg) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

データなし

データなし

データなし

データなし

4.52E-6mmHg (25°C) (推定値) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

データなし

データなし

データなし

水 : 125mg/L (25°C) (実測値) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

log Pow = 3.67 : PHYSPROP Database (2005)

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

融点・凝固点

< 25°C : PHYSPROP Database (Access on Sep. 2008)

沸点、初留点及び沸騰範囲

175 - 177°C (0.85mmHg) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

引火点

データなし

自然発火温度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発範囲

データなし

蒸気圧

4.52E-6mmHg (25°C) (推定値) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

蒸気密度

データなし

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

比重(密度)

データなし

溶解度

水: 125mg/L (25°C) (実測値): NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

オクタノール・水分配係数

log Pow = 3.67 : PHYSPROP Database (2005)

分解温度

データなし

粘度

データなし

粉じん爆発下限濃度

データなし

最小発火エネルギー

データなし

体積抵抗率(導電率)

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性

経口

ラットの雄でLD50=79.8 mg/kg、雌でLD50=72.5 mg/kg(農薬登録申請資料)のうちの低い方の値、LD50=72.5 mg/kgに基づき、区分3とした。

経皮

ラットの雄でLD50=88.5 mg/kg、雌でLD50=72.0 mg/kg(農薬登録申請資料)のうちの低い方の値、LD50=72.0 mg/kgに基づき、区分2とした。

吸入

吸入(ガス): GHSの定義による液体である。

吸入(蒸気): データなし

吸入(ミスト): ラットで雌雄ともLD50=0.039 mg/L(農薬登録申請資料)に基づき、区分1とした。

皮膚腐食性・刺激性

農薬原体についてデータがないため、分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

農薬原体についてデータがないため、分類できないとした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性:データなし 皮膚感作性:モルモットにおけるMaximization法による皮膚感作性試験で、皮膚反応が認められなかったとの記載(農薬登録申請資料)に基づき、区分外とした。

生殖細胞変異原性

in vitroのチャイニーズハムスター培養細胞における染色体異常誘発試験およびin vitroの細菌を用いた復帰突然変異試験において陰性であったとの記載(農薬登録申請資料)があるが、ヒト経世代疫学、経世代変異原性試験、生殖細胞in vivo変異原性試験、体細胞in vivo変異原性試験の結果が無く、生殖細胞あるいは体細胞in vivo遺伝毒性試験の結果が無く、in vitro変異原性試験で複数指標の陽性結果も無いことに基づき、分類できないとした。

発がん性

ラットおよびマウスにおける発がん性試験において、投与に関連した腫瘍性病変の発生頻度の上昇および早期化が認められなかったとの記載(農薬登録申請資料)に基づき、区分外とした。

生殖毒性

ラットの三世代繁殖試験、ラットおよびウサギの生殖毒性試験において、親動物に対する一般毒性は認められたが、催奇形性および繁殖能については影響が認められなかったとの記載(農薬登録申請資料)に基づき、区分外とした。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性

魚類(ニジマス)の96時間LC50=5.2mg/L(農薬登録申請資料、1983)から、区分2とした。

水生環境慢性有害性

急性毒性が区分2、生物蓄積性が低いと推定されるものの(log Kow=3.67(PHYSPROP Database、2005))、急速分解性がないと推定される(BIOWIN)ことから、区分2とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

IMOの規制に従う。

航空規制情報

ICAO/IATAの規制に従う。

UNNo.

3018

ProperShippingName.

Organophosphorus pesticide, liquid, toxic

Class

6.1

(注意:物質純度に応じて、複数の国連番号あり)

国内規制

陸上規制情報

毒劇法の規制に従う。

海上規制情報

船舶安全法の規制に従う。

航空規制情報

航空法の規制に従う。

特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

152

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

劇物(指定令第2条)(政令番号:47-3)

水質汚濁防止法

生活環境汚染項目(法第2条、施行令第3条、排水基準を定める省令第1条別表第2)

消防法

危険物第4類(引火点不明)

船舶安全法

毒物類・毒物

航空法

毒物類・毒物

港則法

毒物類・毒物

16. その他の情報

略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

【2】化学物質審査規制法(化審法)<https://www.env.go.jp>

【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) <https://www.chemicoco.env.go.jp>

【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)<https://www.nite.go.jp/>

【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>

【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>

【8】 eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en

【9】 ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>

【10】 有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>

【11】 HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>

【12】 IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>

【13】 IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>

【14】 Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本MSDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。